

高規格救急自動車仕様書 (東消防署配置車両)

第1 総則

1 適用

本仕様書は、吹田市消防本部（以下「当本部」という。）が、令和3年度消防車両更新事業として購入する、高規格救急自動車（以下「救急車」という。）について適用する。

2 関係法規

この救急車は、本仕様書に定めるものの他、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱に定められた規格に適合するもので、道路運送車両法等関係法規に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

3 承認図

当本部との契約業者（以下「艀装業者」という。）は、救急車の製作にあたり、下記の書類を承認図として当本部へA4ファイル綴りで2部提出し、承認を受けたのち製作を開始すること。

なお、承認図提出前に当本部と製作車両の艀装について十分協議し、当本部の仕様を十分に反映させること。

(1) 一般艀装図（五面図「正面、左右側面、後面、上面」）

(2) 電気系統図

(3) 主要諸元表

(4) 工程表

(5) 軌跡図

(6) その他当本部の要求する書類

4 疑義

本仕様書並びに製作中に疑義が生じた場合は、当本部の指示を受け処置すること。

5 車両管理

納車するまで、資器材メーカー等と連絡を密にして十分な打ち合わせを行い、相互協力のうへ作業の円滑を図ること。

また、車両の管理には細心の注意をほらうこと。

6 留意点

製作にあたっては、特に次の点に注意すること。

(1) 軽量、頑丈、優美であること。

(2) 積載品は、取付け取外し、収納及び取り出しが容易に行えること。

(3) 製作全般にわたり、厳重検査で実施すること。

(4) 本仕様書で明記していない箇所で、艀装するうえで当然すべきことは、メーカーで責任を持って実施すること。

(5) 同等品以上を使用する場合は、質疑受付期間中に機種本体及び仕様を示す資料を当本部に提示し、当本部の承認を受けたものに限る。同等品の解釈は当本部の判断によるものとする。

7 検査

車両納入業者は、当本部が実施する次の検査に立ち会い、検査において不都合な

箇所を発見の際は、すみやかに処置すること。

なお、検査に係る一切の費用を負担すること。検査は、当本部の検査員が3名から4名で実施するものとする。

(1) 中間検査 2回以上実施予定

(2) 完成検査

8 新規登録検査

完成車は、運輸支局の新規登録検査を受け合格後、燃料タンクを満量にして当本部へ納入すること。

9 保証

車両の保証期間はメーカーの定める期間とし、その他の箇所にあつては、納車後1か年とする。

ただし、設計不良及び材質等に起因する不都合な箇所を発見の際は、無償で取替え又は修理を行うこと。

10 提出書類

完成車納入の際、又はそれ以前に次の書類を提出すること。

(1) (2) (4) (5) 及び上記承認図を完成図書として、A4サイズのファイルに綴り当本部へ2部提出すること。

- | | |
|--|----|
| (1) 自動車改造計算書 | 2部 |
| (2) 車両重量実測表及び計量証明書 | 2部 |
| (3) 車両取扱説明書 | 2部 |
| (4) 自動車検査証写し | 2部 |
| (5) 完成車写真 (A4紙1枚に前後(ナンバープレート入り)
・左右の写真4枚を収めカラー印刷したもの) | 2部 |
| (6) 納品書 | 1部 |
| (7) 納品内訳明細書 | 1部 |
| (8) 請求書 | 1部 |
| (9) 請求内訳明細書 | 1部 |
| (10) 車両整備要領書 | 2部 |
| (11) その他当本部の要求する書類 | |

11 納入期限及び納入場所

納入期限は令和3年11月9日(火)とする。納入場所については、当本部から別途指示する。

12 その他

(1) 本仕様書に明記されていない点は、メーカー公表最新の標準仕様とする。

(2) 車両及びシャシ関連資器材の取扱い説明を納車日から1週間以内に2回以上実施するほか、当本部の求めに応じ、取扱い説明を実施すること。

第2 仕様

1 概要

ワンボックス型救急車で、メーカー公表の最新型低排出ガス車とする。

2 完成車両諸元

- (1) 全長 5,650mm以下

- (2) 全幅 1, 900 mm以下
- (3) 全高 2, 550 mm以下 (アンテナ含まず)
- (4) ホイールベース 3, 390 mm以下
- (5) 乗車人員 7名以上
- (6) 車両総重量 3, 400 kg未滿

3 主要諸元

- (1) エンジン 水冷4サイクルガソリン
- (2) 総排気量 2, 690 cc以上
- (3) 最高出力 111 Kw (151 ps) 以上
- (4) 最大トルク 241 N・m (24kgf・m) 以上
- (5) 最小回転半径 6.4 m以下
- (6) ステアリング パワーステアリング
- (7) ミッション 6速・オートマチック
- (8) 駆動方式 4WD
- (9) エアコン メーカー純正 (フロント・リヤ)
- (10) タイヤ ラジアルタイヤ (高規格救急自動車用)
- (11) ヘッドライト LED式
- (12) ドライブレコーダー(GPS付き) 常時録画・イベント録画・手動録画できるもの
- (13) バックモニター付ナビ メーカー公表最新型
- (14) フォグランプ
- (15) 音声メッセージ
- (16) 後退警報器
- (17) フロントコーナーセンサー
- (18) パノラミックビューモニター
- (19) デジタルインナーミラー
- (20) 運転支援装置

4 外装部

- (1) 車体の塗装色及び赤色ラインのテープは、メーカー最新公表の形状とし両側面及び後部の赤ラインテープには再帰性に富んだ反射材を使用する他、バックドア下部に赤帯反射テープを取付けること
- (2) 運転席及び助手席には、乗降時の滑り止め処置を講ずること。
また、乗降時につま先等による塗装面の傷つき防止のため、立ち面付きアルミ縞板を貼付けすること。
- (3) 後部乗降用ステップは、アルミ縞板製プロテクターを設け、滑り止め処置を講ずること。また、リアバンパーにはアルミ縞板製プロテクターを設けること。
- (4) 左側スライドドア乗降口ステップは、アルミ縞板を貼付け、滑り止め処置を講ずること。また、立面にはアルミ筋板を取付けすること。
- (5) 車両右側面には、外側から取出し及び収納が可能な収納庫を設け、レスキュー資器材6点 (レスキューアックス、クリッパー、バール、救助はさみ、ガラスカッター、シートベルトカッター) をバンド等で固定する等、走行中に脱落しないよう取付けること。
また、開放時に収納庫を照らす照明装置を開閉連動式で取り付け、照明装置付

近には単独スイッチを設けること。

(6) 患者室内窓ガラスフィルム及びカーテン

ア) 右側面

全面 「白色フィルム」

イ) 左側面

下2/3 「くもりフィルム」、スライドドア及びクォーター部カーテン

ウ) 後面

下1/2 「くもりフィルム」、バックドア部カーテン

エ) その他

運転席と患者席ウォークスルー部に間仕切りカーテンを設けること。

(7) 左側面にポールスリーブ（旗立てパイプ水抜き付）を取付けること。

(8) 左フロントドアに助手席用アウトサイドミラーを取付けること。

(9) フロントパネル中央部に消防マーク（150mm）を取付けること。

(10) 車幅灯、後退灯、番号灯をLED式とすること。

(11) 両側スライドドアに、開放した際の視認性を高めるため、スライドドアの車両後部側に再帰性に富んだ反射材を貼付けすること。

(12) バックドアにドアエッジを取付けること。

(13) バックドア内側のストレッチャー架台ガイドと接触する箇所に、保護板を取り付けること。保護板は防振架台がどの位置にあっても保護できるような長さにすること。

(14) 文字記入及び明示ステッカー

文字は、すべて左から右書きとすること。車両納入前に、ステッカーの剥がれ等がないことを確認し、使用後もステッカーの剥がれが発生しないような貼付けとすること。

ア) フロントドア左右

ドア部分には、当本部が支給するステッカーを貼付けすること。前輪のタイヤハウス後側に「東1」（青色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。

イ) 左右側面

左右側面は、ルーフ側面部分に「PARAMEDIC UNIT」（紺色太縁山吹色塗りつぶし反射カッティングシール、丸ゴシック文字・デザインは別途指示）及び「CALL119」（山吹色縁紺色塗りつぶし反射カッティングシール、丸ゴシック文字・デザインは別途指定）を表示すること。

ルーフ側面部分と側面ガラスの間には、「救える命を救うために救命講習を受講しよう」（「救命講習」は、青色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし）・「救える命を救うために・受講しよう」は、赤色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。

スライドドア付近には、「吹田市消防本部」「SUITA FIRE DEPT.」「OSAKA」（青色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。

ウ) 車両正面

ボンネット運転席側の赤帯上部に、当本部が指定するステッカーを貼りつけ

ること。助手席側の赤帯上部には「吹田消防」黒色カッティングシール、(丸ゴシック文字、影なし)を表示すること。

また、フロントガラスとフロント散光式赤色点滅灯の間に、「SUITA FIRE DEPT.」(山吹色縁青色塗りつぶしカッティングシール、丸ゴシック文字・デザインは別途指示)を表示すること。

エ) 車両後部

ハイマウントストップランプ上部に「AMBULANCE」(赤色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)を表示すること。

また、後部はリヤガラス下に「吹田市消防本部」(青色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)を表示し、バックドア左隅に当本部が指定するステッカーを貼りつけること。

オ) 車両上部

「吹田東1」(黒色カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)の対空表示を行うこと。

※詳細別途協議

カ) 明示ステッカー

患者室内、右後ルーフサイド収納庫に「シートベルトの着用をお願いします。」の注意喚起文章をシール等で明示すること。

また、各操作スイッチ等についても明記されていないものについては、シール等で明示すること。

その他、当本部が指示する位置に明示ステッカーを貼付けすること。

5 内装部

内装部は、空間スペースを有効に活用し、下記の仕様を十分に満たし資器材等の収納が可能なものとする。

※詳細別途協議

(1) 運転室内

ア) 運転室内天井部に、ティッシュ・グローブボックスを中央に設け、左右にネット収納袋を取付けすること。(ネットの下部は抜け落ち防止措置をすること。)

イ) 助手席から患者室が確認できるインナーミラーを取付けすること。

ウ) 運転席と助手席の間にA3サイズ蓋付収納箱を取付けすること。

また、蓋上部には滑り止めシートを貼付けすること。

エ) 運転席後方に、A3サイズ地図入れを取付けすること。

オ) 小型収納庫I型2個を地図入れに取付けすること。

カ) 消火器を、助手席後方に取出しが容易にできるよう取付けすること。

キ) 運転席及び助手席後部にヘルメット用フックを3箇所設けること。

ク) 運転席と患者室は移動等ができるよう開放式とすること。

ケ) 室内灯を調光式LEDにすること。

(2) 患者室内

ア) 小物吊下げ用フックを患者室に5箇所及び天井に5箇所設けること。

イ) ウェルパス1L収納庫をスライドドア乗降口付近に設けること。

ウ) 換気扇フィルターの脱着が可能な電動型換気扇を設けること。

エ) AC/DCで使用できるオゾンガス除菌用BT-03を車内右棚中央上部付

近に取付けすること。また、蓋が振動等で外れない措置を施すこと。なお、取付けは、十分に手が入るスペースを確保し、容易に脱着が可能なネジを使用すること。

オ) 天井中央部には、アシストグリップ 2 箇所設けること。

また、それ以外にもルーフサイド収納庫下部にアシストグリップを 2 箇所以上設けること。

カ) 付き添い人用ベンチ型シート 2 名分を設け、シートベルトを取付けすること。

なお、着座した付添人を適切な位置で固定できるものとする。

キ) バックドアからの乗降用に、長尺グリップ（保護パット付き）を設け、下部にもグリップを設けること。

ク) バックドアには、バックドアストラップ（長）を取付けすること。

ケ) ルーフサイドには、アナログ時計及び電波時計を取付けすること。

コ) 天井内張りの必要箇所に、電気配線等の点検口を設けること。

サ) 床面は、水洗い等の掃除が容易にできる構造とし、出来得る限り、シーリングを施すこと。

シ) ウォークスルー部分に、隊員用手摺りを 1 箇所以上設けること。

6 収納関係

資器材収納庫等は、収納資器材に応じて棚又はマジックベルトなど固定装置を設け、走行中及び患者処置中に脱落等が行らないよう艤装すること。

また、下記の仕様を十分に満たすよう資器材及び収納庫を配置し、収納庫には可能な限り扉を設けること。扉を設ける場合は、重量を考慮したアクリル製を主に使用すること。

※詳細別途協議

(1) 患者室内に、大型縦式収納庫を 1 箇所設けること。収納庫は、棚板 2 段式とし、取外し及び高さ調整ができるものとする他、収納庫扉は収納庫最下部から 500 mm 以上の高さ位置に取付けすること。※扉軸可動部は化粧加工実施

収納庫扉及び側面は、全面マグネット仕様とし、収納庫扉上部にマグネット式 A 3 型ホワイトボードを取付け、中央部にマグネット式ティッシュ・グローブボックスを 2 個取付けすること。

また、扉内側にはネット収納袋を 1 段で取付けすること。

(2) 左側スライドドア開口部付近に収納庫を 1 箇所設けること。

また、手洗い装置を標準で装備している場合は、収納庫へ改造し、上面に取外し可能なステンレス製のトレイを設ける他、内側にステンレス板を貼付けすること。また、側面（地図収納箱側）にバンド等で安全誘導灯 2 本を固定すること。

(3) ルーフサイドには、患者室右前、右後、左前及び左後の 4 箇所に収納庫を設けること。なお、左前は LED ランプ付きとすること。また、収納庫には、資器材等が脱落しないよう可能な限り扉を設けること。

(4) AVM 収納庫を助手席後部に設け、収納庫後部には金属製扉 2 枚の縦型 2 段式収納庫を取付けすること。

(5) 後部ドア付近に、スライド式扉の収納庫を設けること。収納庫内の横仕切り棚は、位置調整が可能なものとする。また、当収納庫の前側には汎用メディカルポールを取付けること。

- (6) 酸素ボンベ収納庫上部に3段収納庫を設けること。また、付近にはACコンセントを設けること。
- (7) 3段収納庫後側には吸引器（レールダルスクションユニットLSU4000）を積載できる架台を取付けること。また、架台の下付近には吸引カテーテル保持用パイプを設けること。
- (8) 患者室内に自動体外式除細動器（旭化成ZOLL製AEDPro）及び自動体外式除細動器（旭化成ZOLL製Xシリーズ）を積載できる架台を取付けること。架台位置については、旭化成ZOLL製AEDPro架台を前側とすること。また、旭化成ZOLL製AEDPro架台下には携帯用酸素人口呼吸器（パラパックプラス300NJ）を収納できるようにすること。資機材はすべてにおいて容易に取外しが行えるようにすること。
- (9) 鍵付き引出式収納庫とAEDPro架台の間、AEDPro架台とXシリーズ架台の間及びXシリーズ架台下部部分に落下防止のつい立てを取付けること。
- (10) 天井部には、ルーフネットを3箇所設けること。
- (11) 患者室前向きシートは、ハイバックシートで3点式シートベルトを具えたものとする。
- また、ハイバックシート座席下には2L酸素ボンベ1本を引出式で収納すること。
- (12) 付き添い人用横向きシート下に、2L酸素ボンベ2本分の積載架台を設けること。なお、当本部が所有する2L酸素ボンベすべてに対応できるようにすること。
- (13) 10L酸素ボンベ2本を、医療器具収納箱を設け収納すること。10L酸素ボンベは、走行時に脱落、移動等が起こらないよう確実に固定でき、かつボンベ取替えが容易にできるものとする。
- (14) 患者室内に引出式収納庫を2箇所設けること。
- また、1箇所を鍵付き収納庫とすること。
- (15) 運転室内と患者室のウォークスルー部分に、A3サイズ地図収納箱と併せて収納台座を作成すること。収納台座は、自動体外式除細動器が設置可能なものとし、走行中脱落等が発生しないよう、ベルト等で固定できるようにすること。また、台座上部には滑り止めシートを貼付けすること。
- (※標準仕様で地図入れを取付けている場合は、移動させ収納台座と確実に固定すること。)
- (16) メインストレッチャー収納架台横にスペースを設け、スクープストレッチャーバックボード等各ストレッチャーを収納すること。
- また、スペースには当本部が使用する救急資器材を収納するため、脱落等防止措置を講ずること。
- (17) 薬事法に定める医療器については、医療器業者と連絡を密に調整し適切に取付けられるようにすること。
- また、当本部が支給する資器材の取付け等については、資器材納入業者と連絡を密に調整し適切に取付けすること。

※詳細別途協議

7 医療機器等

- (1) 加湿流量計及び減圧器

10L酸素ボンベ2本を収納する場所の上部に、当本部が支給する減圧器、圧力計及び三方チーズを設け、専用パイプを介して患者室右側上に設置した加湿流量計に接続すること。なお、圧力計の指針が患者室内から見通せるように設置すること。

また、酸素吸入装置（OX-ⅢS）用配管及びマスクを収納する専用の収納装置を患者室に設置すること。

(2) 配管

酸素ボンベから加湿流量計までの配管は、十分な強度及び耐久性を有し内張り内に体裁よく裏配管を敷設し納めること。

(3) その他

酸素ボンベ収納庫の窓は開放とし、保護枠を設けボンベハンドル台座を取付けすること。

8 ストレッチャー

(1) メインストレッチャー

エクステンジTC4080-S（ガードルキット及びSoftenピロー付き）を積載すること。

また、マットレスは抗菌マットレスとすること。

(2) 収納装置

メインストレッチャーを収納するために、スイング・サポートSK1 R610-FB13を設け、メインストレッチャーを確実に固定し、かつ容易に解除できる装置を装備すること。

また、防振架台は、左右にスライドできる構造とする他、メインストレッチャーの出し入れで損傷することのない、強固な素材を使用して製作すること。

9 特殊艤装

(1) 赤色警告灯

フロントルーフ部及びリヤルーフサイド部には、メーカー最新型のキャブ一体型赤色警告灯及び赤色警告灯を設けること。

また、フロントルーフ部赤色警告灯には、LED赤色灯を3箇所増設すること。

(2) 赤色点滅灯

ア) フロントバンパー上部左右に大阪サイレン製LFA-150を取付けすること。

イ) フロントバンパー左右両側面に大阪サイレン製LFA-100を取付けすること。

ウ) バックドア上部に小糸製作所製（2灯）を取付けすること。

エ) バックドア開放時にルーフ赤色灯と連動して点滅する作動表示器小糸製作所製を、右後ろ収納棚付近に後ろ向きに1個取付けすること。

また、単独OFFスイッチをバックドア付近に取付けすること。

オ) バックドア側面に貼付け型のLED赤色点滅灯（開閉連動式）を貼付けすること。

また、バックドア底面にも赤色点滅灯（連動式）を設けること。

カ) フロントドア後部にLED赤色点滅灯（開閉連動式）を貼付けすること。

(3) サイドフラッシャーランプ

スライドドア左右上部のルーフサイドにウインカー連動式のサイドフラッシャーランプを取付けすること。

(4) 路肩灯

後輪左右フェンダー部に取付けること、スイッチについては、スモールランプ連動式とする。

また、センターコンソール付近にスイッチを設けること。

(5) 患者室照明

救急処置に支障のない明るさを有するLED室内灯及び患者灯を設けること。

また、バックドアには、LED式スポットランプを取付けすること。

(6) 電子サイレンアンプ

大阪サイレン社製「OPS-D151Q MARK-D1」を取付け、マイククロホンMC-D1型を接続し、サイレンとマイクが同時使用できること。

また、運転席上部には、フレキシブルマイク大阪サイレン製UD-100を取付けし、専用スイッチをセンターコンソール付近に設けること。

(7) サイレンウー音

電子サイレンアンプのウー音スイッチ（ONで吹鳴し、OFFで切断）をハンドル右側インパネに取付けすること。

(8) 電流計・電圧計

夜間照明付きの丸型メーターをコンソールボックスに取付けすること。

(9) 出動予告スイッチ

サイレンアンプに内蔵された出動予告放送機能をスタートさせるスイッチをセンターコンソール付近に取付けすること。

(10) 音声メッセージ用スイッチ

サイレンアンプに内蔵された、交差点及び直進メッセージを発生させるスイッチをそれぞれ単独でセンターコンソール付近及び運転席インパネ付近に取付けすること。（合計4箇所）

(11) 右左折メッセージ用スイッチ

サイレンアンプ内蔵メッセージ発生用のスイッチを、センターコンソール付近の運転席側に設けること。

(12) 後退警報器

バック音声合成メッセージのメインスイッチを運手席側に取付けすること。

(13) マップランプ

助手席ピラ付近にLED式マップランプを設けること。

(14) 無線受話器及びスピーカー

患者室内の当本部が指定する位置に取付けすること。

(15) 車両盗難防止装置

装置使用状態では、解除しない限り、救急車を動かそうとした際、警告音が鳴り、車両を動かすことができないようにすること。

また、装置使用状態であっても、車外から車両ドアロックが可能なものとする
こと。

(16) インバーター

患者室内において、資器材等に交流電源が使用できるようインバーターを設置

すること。出力コンセントは、運転室内に1口、患者室内医療機器設置場所付近に8口以上及び縦型収納庫天板部分に1口を設けること。なお、コンセントの位置は容易に使用できる位置に配置すること。

また、患者室内には、インバータースイッチを設け、使用時の注意喚起ステッカーを貼付けすること。

(17) 電源自動切換改造

車両走行中は、インバーターからの電源、署内待機中は外部入力AC100Vに切り換えできる改造をすること。

署内で、外部入力時に使用できる出力コンセント2口を、バックドア付近に設けること。

(18) 小型充電器

充電器SA-12PXを取付けし、外部入力AC100Vから電源供給時に充電器を介してバッテリーを充電できるようにすること。

また、外部入力は、マグネット式コンセント（コード15m）をリヤバンパー運転席側に取付けすること。

(19) スターターカット改造

外部電源入力中にエンジンスタートが出来ないように改造すること。

また、外部入力中を示すインジケータランプを取付けし、入力中にエンジンキーをONにすると警告音が鳴るようにすること。

(20) アースボンディング

無線機等に雑音が入らないよう、ボンディングワイヤーをマフラー、トランスミッション、バックドア、左右フロントドア及びボンネット部に講じて、雑音防止の措置をとること。

(21) 各種電装品の電源

各種電装品の電源は、キースイッチONで入り、OFFで全て切れること。

(22) その他

薬事法に定める医療器については医療器業者が取付けるので、医療器業者と連絡を密に調整し適切に取付けられるように配慮すること。

10 無線電話装置

指定する車両から車載無線電話装置等（本体、送受話器、アンテナ）を取外し本艀装車両に取付けること。（配線は新たに取付けること）

また、取外し、取付けの際は、指定する無線工事業者と調整し、適正に取付けさせること。

11 指令端末装置

指定する車両から指令端末装置等（本体、車内設定機）を取外し本艀装車両に取付けること。

また、取外し、取付けの際は、指定する指令端末工事業者と調整し、適正に取付けさせること。指定する指令端末工事業者と調整する際は、当本部の車両である旨を必ず伝えること。

※無線電話装置及び指令端末装置指定業者

協和テクノロジー株式会社

TEL 06-6363-8811 担当 松本氏

12 その他

携帯電話を積載するので、車両製作中に行わなければならない配線（アンテナ電源・制御線）の工事等に際しては取付け業者と協力して実施すること。

第3 補助規格取付品及び付属品

品名	備考	数量
1 赤色警告灯及び赤色点滅灯		
(1) フロントルーフ	キャブ一体型赤色警告灯 LED赤色灯×3増設	1式
(2) リヤルーフサイド		1式
(3) フロントバンパー上部	大阪サイレン製LFA-150	1式
(4) フロントバンパー両側面	大阪サイレン製LFA-100	1式
(5) フロントドア後部	貼付け型LED	1式
(6) リアバックドア上部	小糸製作所製（2灯）	1式
(7) リアバックドア		
	ハイマウントストップランプ、側面貼付け型LED、底面LED	1式
(8) 後方用赤色点滅灯	作動表示器小糸製作所製（スイッチあり）	1式
2 サイレンアンプ		1式
	OPS-D151Q・MARK-D1 （マイク・スピーカー付） マイクロホンMC-D1、フレキシブルマイク 大阪サイレン製UD-100	
3 メインストレッチャー	エクステンジTC4080-S付属品込	1式
4 防振ストレッチャー架台	スイング・サポートSK1R610-FB13	1式
5 酸素吸入装置		1式
	オキシパックOX-ⅢS（支給品）取付 支給品（加湿流量計、減圧弁2個、三方チーズ、配管ホース）	
6 酸素ボンベ	10L（容器のみ） 2L（容器のみ）	4本 5本
7 消火器	ABC4型（リサイクルシール付） ※蓄圧式	1本
8 患者室照明	LED室内灯（調光式）、患者灯	1式
9 スポットランプ（LED式）	バックドア取付け	1式
10 エアコンディショナー	デュアル式	1式
11 バックモニター付ナビ	メーカー公表最新型	1式
12 サイドフラッシャーランプ		1式
13 フロントコーナーセンサー（ON・OFFスイッチ付）		1式
14 路肩灯	スモール連動式（スイッチあり）	1式
15 パノラミックビューモニター		1式
16 デジタルインナーミラー		1式
17 運転支援装置		1式

第4 特殊取付品及び付属品

品名	備考	数量
1 消防マーク	150mm	1式
2 再帰性に富んだ反射材		1式
3 バックドア赤帯反射テープ		1式
4 乗降口滑り止め	各乗降口	1式
5 レスキュー資器材	6点セット	1式
6 照明灯	レスキュー資器材庫LED式	1式
7 ガラスフィルム		1式
	右側面 全面「白色フィルム」	
	左側面 下2/3「くもりフィルム」	
	後面 下1/2「くもりフィルム」	
8 カーテン	スライドドア、クォーター、バックドア、ウォークスルー部	1式
9 ポールスリーブ	旗立てパイプ水抜き付き	1式
10 アウトサイドミラー	助手席用	1式
11 ティッシュ・グローブボックス	運転席、患者室	1式
12 ルーフネット	収納ネット（運転席、患者室）	1式
13 インナーミラー	助手席用	1式
14 AVMモニター用台Ⅱ型	地図入れ付（蓋付）	1式
15 小型収納庫Ⅰ型		2式
16 地図入れ	A3サイズ	2式
17 フック	小物吊下げ、ヘルメット用	1式
18 電動型換気扇	フィルター取替え式	1式
19 殺菌灯	(株)タムラテコ社製BT-03	1式
20 アシストグリップ	患者室	1式
21 バックドアストラップ	バックドア取付け（長）	1式
22 大型アシストグリップ		1式
	バックドア左側保護パット付き、下部グリップ	
23 時計	患者室（アナログ・電波）	1式
24 大型縦式収納庫	棚板2段（高さ調整可）	1式
	A3ホワイトボード（マグネット式）	
25 ウェルパス収納庫	患者室1Lボトル用	1式
26 ルーフサイド収納庫	左右前後側面（左前LEDランプ）	1式
27 スライド式扉付収納庫	バックドア右側付近取付け（棚調整可）	1式
28 網棚	患者室	2式
29 自動体外式除細動器（旭化成ZOLL製 Xシリーズ）架台（吹田仕様）		1式
30 自動体外式除細動器（旭化成ZOLL製 AED Pro）架台		1式
31 吸引器（レールダルサクシオンユニットLSU4000）ブラケット		1式
32 強力ライト		2式
	予備球2球付ハタヤLED防爆・防雨型PEP-03D、 肩掛けバンド付き	
33 縦型2段式収納庫	患者室（金属製扉）	1式

34	引出式収納庫	患者室（2箇所うち1箇所鍵付き）	1式
35	A V M収納庫	助手席後部取付け	1式
36	ストレッチャー収納庫	患者室	1式
37	汎用メディカルポール	患者室	1式
38	電流計・電圧計	コンソールボックス取付け	1式
39	出動予告スイッチ		1式
40	音声メッセージ用スイッチ	4箇所	1式
41	右左折メッセージ用スイッチ	1箇所	1式
42	後退警報器	メインスイッチ付き	1式
43	無線用スピーカー	患者室内	1式
44	インバーター	出力コンセント9口	1式
45	外部入力コンセント		1式
		出力コンセント2口、マグネット式コンセント (コード15m)、電源自動切換改造	
46	スターターカット		1式
47	小型充電器	S A - 1 2 P X	1式
48	雑音防止装置	アースボンディング	1式
49	マップランプ	助手席用L E D式	1式
50	反射チョッキ		3式
		株式会社ナカネ製カスタムメイドベストB 【吹田消防】と背中に記入（吹田仕様）	
51	訓練旗	黒文字「訓練」ポール付き（短） ポールスリーブ取付け時、出360mm	1式
52	耐刃ベスト	光防災商会 K - 4 1（吹田仕様）	3式
53	表示板		4枚
		200mm×800mm 「整備搬送中」黄色下地、黒丸ゴシック文字	
54	A C延長コード	2mO Aコード	1式
55	携帯拡声器	ノボルTD-503R（ホルダー NZ-313付）	1式
56	安全誘導灯	ポータ工業製R K C - B R 9	2式
57	汚物缶	足踏み式（山崎産業ST-M10）	1式
58	乾電池	積載品に必要とする電池	1式
59	補修用タッチペン	純正品	1式
60	資器材取付け装置		1式
61	ティッシュ・グローブホルダー（マグネット式）		3式
62	3段収納庫	患者室	1式
第5	車両取付品及び付属品		
1	ヘッドライト	L E D式（L O W）	1式
2	フォグランプ		1式
3	L E D式灯火装置		1式
4	ドライブレコーダー（GPS付き）	T Z - D 1 0 2（セルスター工業）	1式

5	スペアキー	3本ワイヤレスリモコンタイプ	5式
6	スタッドレスタイヤ	標準タイヤとは別、スチールホイール付	1式
7	タイヤチェーン	非金属製	1式
8	非常用信号具		1式
		三角停止板、発煙筒（付属品）	
9	車輪止	作業灯 スタイリッシュハンディLEDライト ゴム製（黒）	1式
10	車両工具		1式
		工具箱付き	
		ジャッキ、ホイールレンチ、ドライバー等	
11	ドアエッジ	運転席、助手席、バックドア	1式
12	サイドバイザー		1式
13	フロアーマット		1式
14	電磁式ドアロック	集中ドアロック	1式
15	車両盗難防止装置		1式
16	座席カバー	全席	2式
17	マッドガード	全車輪	1式
18	ヒューズ、バルブ	予備ヒューズ、バルブ	1式

第6 その他

1 現物支給品

次に掲げる資器材は、当本部から支給するため、取付け等は資器材納入業者と連絡を密に調整し適切に取付けすること。

- (1) 旭化成 ZOLL 製 X Series AX-12CESN（付属品含む）
- (2) 旭化成 ZOLL 製 AED Pro AZ-ORAR（付属品含む）
- (3) パラパックプラス300NJ（付属品含む）
- (4) レールダルサクシオンユニット LSU4000（付属品含む）
- (5) オキシパックOX-III S（付属品含む）
- (6) ハイテクバックボード（モデル2010）（付属品含む）
- (7) スクープストレッチャー モデル65-EXL ピン付（付属品含む）

第7 備考

- 1 発注台数（車両リサイクル費用含む） 1台
- 2 廃棄車両の引取り及び処分 1台

更新車両納車後、廃棄車両を引取り解体処分すること。また、廃棄車両の引取り日程については後日指示する。

なお、業者において、車体の名称表示を確実に消去するとともに、赤色灯、サイレン等の解体撤去を行い抹消登録の手続きを行うこと。

（当本部に抹消済の登録事項等証明書の原本及び解体後の写真を提出すること。）

- 3 ステッカー剥離及び貼付け

救急車納車後に、指定する車両のカッティングシールを剥がすこと。

（車両の塗装等に損傷を与えないこと。）

第8 問い合わせ先

吹田市消防本部 警防救急室

TEL 06 (6193) 1117

FAX 06 (6193) 0101